

【豊川の防災】

今年の東海地方の梅雨入りは5月28日頃で前半はほとんど雨が降らず今年には空梅雨かと思わせましたが6月中旬になってようやくまとまった雨が降りました。どしゃ降りではなく3、4日断続的に降り続く程度でしたが、この位の雨で豊川の流れはどのようになっているか河川事務所のホームページで「ライブカメラ」の映像を見てみることにしました。通常より水量は少し多いようですが思ったより穏やかな豊川の様子が確認できました。約1時間前から現時点までの10分毎の映像を見ることができ、豊川に関しては26箇所をカバーしています。国土交通省ではこの他に国管理の109水系に関する雨量、水位、ダム情報をリアルタイムで見られる「河川防災情報」を提供しており携帯電話からも見ることができ、川のレジャー等の事前確認に活用できると思います。



河川カメラ

豊川の防災に関しては、このようなハイテクだけではなく、管理事務所の方々の日常のパトロール、老朽施設の保全など地道な努力で安全が確保されていることに感謝しなければいけないと思います。一方で、我々市民も細心の注意をもって豊川に接し、安全は自ら守るようにしなければなりません。今月17日、北島河川敷公園で小学2年の女子が水死するという痛ましい事故がありました。穏やかな川での楽しい水遊びが一瞬にして最悪の事態に転じるという自然の中に潜む脅威をこの幼い命と引き換えに我々は教えられました。川に限らず、海、山などの自然には、畏怖の念も忘れずに接さなければなりません。

私の愛護モニター報告は、今回が最後となります。振り返ってみると、きめ細かな現状報告、改善提案などの内容に乏しく、ほとんどがモニター報告に名を借りた私自身の豊川に関する「おさらい」の感が否めず、お役にたてたか甚だ疑問です。私個人としては、おかげさまで豊川の新たな魅力に出会えたり色々な知識も増え、「プチ豊川博士」になれたと自画自賛している次第ですが・・・。

最後に、豊川が幾久しく豊橋市民に潤いと恵みをもたらしてくれることを祈念し、6月の豊川の美しい景観で締めくくらせていただきます。

